

2014（平成26）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース
社会科教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙のほかに、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

【問題】

次ページ以降に3つの資料を掲げてある。

【資料1】は、寺子屋の内部を描いたものとして有名な絵である。

【資料2】は、日本の明治維新が世界史的にみてユニークなものであり他の諸国（とくに途上諸国）の経験を考察するうえで有益な示唆に満ちていることを強調している本からの引用で、江戸時代末期から明治期初頭にかけての教育組織の概要が整理されている。

【資料3】は、現在の日本における秩序感覚の形成・成立過程を扱った本からの引用で、明治時代に確立する学校制度について特徴づけられている。

なお、各資料に原典からの引用を掲げるにさいしては、漢数字を算用数字に変えてある。また、原典における脚注番号およびそれに対応する脚注は省略してある。他方で、受験生の便宜のために、問作者による脚注を適宜挿入してある。

資料をよく参照したうえで、つぎの3つの設問に答えなさい。

設問1 3つの資料から、江戸時代の寺子屋教育と明治期の初等教育との違いを400字程度でまとめなさい。

設問2 法制度によって義務教育化し、国家予算を投入しているから、感性や思考に一貫性と整合性のあるような児童生徒を育成するのは公教育の当然の責務であるという観点を前提にするとすれば、【資料3】は必要以上に「統制」や「管理」を強調しているという意見もありうる。あなたはどうか、400字程度で述べなさい。

設問3 3つの資料から(1)現在の初等教育に引き継がれていると思われることと、(2)引き継がれていないと思われることについて、それぞれ抽出したうえで、現在の初等教育の特徴について800字程度で述べなさい。

【資料1】

非公開

出典)『社会科 中学生の歴史』帝国書院, 2013年。

【資料2】

非公開

(出典：坂野潤治・大野健一『明治維新 1858-1881』講談社現代新書，2010年，196-198ページより一部改変して抜粋。)

*1 儒学は儒教とも称される。宗教色が含まれると解釈する場合は儒教といい、学問体系として理解する場合は儒学という場合が多い。

*2 識字率とは、人口に占める「読み・書き」できる者の割合。

*3 初等教育就学率とは、初等教育対象年齢層の数に占める初等教育就学者の割合。

【資料3】

非公開

*4 1872（明治5）年の「学制」によって、大学区－中学区－小学区の区分けがなされ、それに即して高等教育機関－中等教育機関－初等教育機関が整備されていった。

非公開

*5 師範学校とは、一般的には戦前の教員養成機関の総称であり、戦後は廃止され、戦後の教員養成は大学が担うようになった。ただし、資料文にある「師範学校」とは、日本で最初に設置された師範学校のことで、のちに東京高等師範学校－東京教育大学－筑波大学という変遷をたどった。

*6 原文では「左手ヲカク」となっているが、受験生は「左手ヲオク」（左手を置く）と読み替えてよい。

非公開

(出典：成沢光『現代日本の社会秩序 — 歴史的起源を求めて』岩波書店，2011年，111-117ページより一部
改変して抜粋。)

2014（平成26）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース
社会科教育専修

出題の意図

この小論文は、入学希望者に対し、入学後に当社会科教育専修で初等教育の理論的・実践的能力を習得するための前提となる資質に関して、つぎの3点から確認するためのものである。

設問1

違いを見出して説明する力をみる。

設問2

あらかじめ提示された特定の意見に対して論理的に応答する力をみる。

設問3

過去との連続性と不連続性とを明示的に考慮して現在の特徴点について構成する力をみる。